



令和 4 年 9 月 2 日
National Center for Global Health and Medicine
国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

NCGM への入職をお考えの皆様へ

国立国際医療研究センター（NCGM）と国立感染症研究所との統合の方向性については、本年 6 月に政府の新型コロナウイルス感染症対策本部（以下「政府コロナ本部」）において決定されたところですが、9 月 2 日に政府コロナ本部において、「新型コロナウイルス感染症に関するこれまでの取組を踏まえた次の感染症危機に備えるための対応の具体策」がとりまとめられ、統合によって創設される新たな専門家組織の機能が示されました。

その内容については、[政府のウェブサイト](#)に掲載された文書（該当部分は P.8）をご参照いただければと思いますが、「高度先進医療等を提供する総合病院をはじめ両機関が現在担っている事業等の着実な実施」との記載があることから、これまで当センターとして申し上げてきた、総合病院機能の重要性をご理解いただけているものと受け止めています。

したがって、統合によって創設される新たな専門家組織は、これまでの NCGM と同様、多岐にわたる分野について、医療従事者・研究者がその専門性を十分発揮できる場であり続けるものと考えています。

NCGM への入職をお考えになっている皆様の中には、NCGM に関心を持ちつつも、本年 6 月の政府コロナ本部決定を受けて、NCGM が今後どのような組織に変わっていくのかといったご心配をされている方もおられると思いますが、上記の通り、最先端の医療を担う総合病院として進化し続けながら、日本全体の健康危機管理、そして国際貢献にも重要な役割を担う病院として、レベルアップしていくものと考えています。このような役割を共に担っていくという観点から、今後の進路についてお考えいただければと存じます。

これまで通り、さまざまな分野での活躍を希望する医療従事者・研究者の皆様に、NCGM の門戸を叩いていただけることを期待しております。

国立国際医療研究センター理事長 國土 典宏